

2026年度 北見藤高等学校シラバス

【教科】 【科目】	【数学】 【数学Ⅰ】	1年	4単位	教科書	最新 数学Ⅰ(数研出版)	副教材等	なし	履修対象・ 使用教室 等	総合コース(必修)・各HR教室
教科・ 科目の 目標	(1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。								
評価 の 観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。		命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。			数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			
評価 方法	＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。								
評価 資料・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等		予定回数・内容等			知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	単元テスト		「節」ごとに実施なので計9回実施予定			60%		60%	
	問題演習		復習がメインです。授業課題・長期休業課題への取組の様子や到達度を評価します。			40%		40%	10%
	家庭学習		スタディーサプリを活用し、復習をしてください。						80%
	授業態度		授業態度が良ければ加点します。						10%
	〔観点別配分％〕		〔3観点の比重を％で示しています〕						
月進行 (計画)	【単元名】 学習項目名	配当 時間 (計画)	学習内容・目標(到達点) など			主な評価資料		評価の重み付け〔○●〕 知・技 思・判・表 態度	
4 5	中学校の内容の確認 第1章 数と式	24	第1節 数と式 多項式、展開、因数分解 第2節 実数 実数、根号「ルート」			単元テスト 問題演習 家庭学習 授業態度		○ ○ 	● ○ ● ○
6 7	第1章 数と式 第3章 2次関数	24	第1章 数と式 第3節 1次不等式 不等式、連立不等式 第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 1次関数とそのグラフ、2次関数とそのグラフ			単元テスト 問題演習 家庭学習 授業態度		● ○ 	● ○ ● ○
8 9	第3章 2次関数	25	第1節 2次関数とグラフ 平行移動、平方完成、2次関数の決定など 第2節 2次方程式と2次不等式 2次方程式、2次不等式			単元テスト 問題演習 家庭学習 授業態度		● ○ 	● ○ ● ○
10 11	第4章 図形と計量	27	第1節 三角比 三角比、三角比の相互関係、三角比の拡張など 第2節 正弦定理・余弦定理 正弦定理、余弦定理、三角形の面積			単元テスト 問題演習 家庭学習 授業態度		● ○ 	● ○ ● ○
12 1	第5章 データの分析	20	データの代表値、分散、相関、仮設検定など			単元テスト 問題演習 家庭学習 授業態度		● ○ 	● ○ ● ○
2 3	第2章 集合と命題 章末問題(総復習) 課題学習	20	集合、部分集合、共通部分、和集合、補集合 命題と集合、命題と証明、背理法など 数学Ⅰの総復習 数学Ⅰで学んだことを活かし、課題解決能力を育む			単元テスト 問題演習 家庭学習 授業態度		● ○ 	● ○ ● ○

学習の アドバイス	・数学Ⅰの基礎基本の定着を徹底します。 →基礎基本の定着（知識・技能）なしでは、応用問題や入試問題（思考力・判断力・表現力）に対応できない。ゆえに、教科書レベルの内容の定着に特化します。 ・進学希望者はスタディクラブの積極的な取り組みや平日講習に積極的に参加し、実践演習を構むことを強く勧めます。 ・各クラス、同じ内容の単元テストにて実施し、「A」、「B」、「C」の評価、評定を算出します。単元テストの良し悪しで決まりますので、1つ1つの単元テストに本気で臨んでください。 ・数学は積み重ねの教科です。家庭学習の習慣が必須となります。授業では「理解」、家庭学習にて「定着」を心がけてください。
----------------------	---